

創作と編集のあいだ — 文学プロデュースの現場から —

講師：七北数人（ななきた・かずと、文芸評論家・編集者）

日時： 7月8日（金）16:20～17:50

場所： 大阪大学文学部ドイツ文学研究室（本館4F）

内容： 講師は『坂口安吾全集』（筑摩書房）の編集者で、『評伝坂口安吾 魂の事件簿』（集英社）の著者。「坂口安吾デジタルミュージアム」でも毎月、作品紹介を執筆するなど、安吾に深くかかわってきた。

今回は、個人全集の編集準備から装丁・宣伝まで、文学プロデュースの実際を紹介するとともに、創作や評論の執筆と編集作業との共通点・相違点を明らかにする。また、講師の編纂によるテーマ別アンソロジー企画が成立するまでの経緯や、企画の意義について論じるほか、各出版社の文芸雑誌・単行本の編集者群像にも説き及ぶ。

主催 大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文学」／
「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」研究PT

問合せ 大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室（06-6850-5116）